



学校だより

やさしさとは、優れた行い

校長 西沢 盛和

以前、テレビCMで宮澤章二さんの「行為の意味」という詩の一部が使われていました。次のようなフレーズです。覚えている方も多いと思います。

<こころ>はだれにも見えないけれど、<こころづかい>は見える
<思い>は見えないけれど、<思いやり>はだれにでも見える

今年度、私は「やさしい学校」を大きな目標として掲げています。<やさしさ>は誰にも見えないので、目標の達成度をどのように計ればよいのかということになります。それこそ誰にでも見える<やさしい行為>が溢れる学校になるかどうかだと私は考えています。冒頭の詩「行為の意味」は、次のように終わります。

あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき
<心>も<思い>も 初めて美しく生きる -----それは 人が人として生きることだ

嬉しいことに、子供たちの「やさしい行為」をよく見かけます。例えば、ちびっこサッカーでの出来事、強烈な日差しの暑い日でした。練習終わりに冷たいチューチューアイスが配られる時、我先にと並ぶ子供たちの列にヤシ学級の男の子が取り残されてしまいました。しかしそれを見た6年生がすぐに「どうしたの。」と男の子の手を取り、争うように並び終えた2年生の列に向かって「どこか入れて。」と声をかけました。するとすぐに2年生の一人の男の子が「ここいいよ。」と自分の前に入れてあげました。とても自然に、当たり前のごとくのように、そのようなやさしい行為が行われたのです。また、こんな出来事もありました。飼育小屋のチャボがけがをしているのを見つけた3年生の女の子が私に「チャボが血を流しているのに、何で校長室に座っているの。早く医者に見てもらって。」と怒ったように言いました。チャボを心から心配しての行為です。父島には獣医師はいないと思い込んでいた私も、子供に怒られ(?)とにかくチャボの治療ができる人がいないか探してみようと、方々に電話をかけました。すると巡りに巡って、開所前の世界遺産センター獣医師荒井先生に連絡が行き着きました。開所前の忙しい中であつたのにもかかわらず、荒井先生はその日のうちに環境課の職員とともに来校し、チャボの傷を診ていただきました。そればかりか「また経過を診に来ます。」と言って、1週間後に再度来校してくださり「もう大丈夫でしょう。」と診察を終えられたのです。私は荒井先生の「やさしい行為」に驚きと感謝の気持ちで一杯になりました。それと同時に、3年生の女の子がチャボを心配して訴えてくれた「やさしい行為」に心から嬉しくなりました。

やさしい行為は、「優れた行為」だと思います。子供たちに望むだけでなく、私たち大人こそが、自然に、当たり前のごとくのように、やさしい行為を子供たちに示したいと思います。そして、「やさしい学校」の目標を達成すべく、もっともっと「やさしい行為」の溢れる学校になるよう努力していきます。

6月の行事予定				16	金	クラブ活動
1	木			17	土	
2	金	委員会活動	SC	18	日	
3	土			19	月	全校朝会
4	日			20	火	ヨーグルト
5	月	全校朝会 挨拶運動始		21	水	音楽集会
6	火	ヨーグルト		22	木	
7	水	誕生日集会 安全指導	SC	23	金	SC
8	木	遠足(1, 2年)		24	土	返還祭
9	金	避難訓練(集団下校) 挨拶運動終	SC	25	日	
10	土			26	月	全校朝会 開校記念日
11	日	ノロ落とし		27	火	
12	月	全校朝会		28	水	運動集会 芝生スポの日
13	火	ヨーグルト飲料		29	木	島しょ研(3年生以外午前授業)
14	水	ゲーム集会 小港キャンプ1日目 芝スポの日		30	金	SC
15	木	小港キャンプ2日目				

<生活目標>

担当 清水 智

○話をしっかり聞こう

6月の生活目標には

「しっかり」という言葉が入ります。相手を見る、

うなずく、終わりまで聞く

といったことを重点的に、

学習場面などで指導・支援していきます。

ご家庭の話題の一つにしてみてください。



<安全指導>

担当 永沢 若菜

○かさと上履きを忘れないようにしましょう。

6月の生活目標は、「かさと上履きを忘れないようにしましょう」です。梅雨に入り、突然雨が降ることも多くなってきました。朝には降っていた雨も、下校の頃にはすっかり上がって晴れていると、かさの持ち帰りを忘れてしまう人も多いのではないのでしょうか。そして次の日の朝、登校しようと玄関を出るとすっかり雨模様…。そこで初めて忘れたことに気付く…ということはありませんか。また、かさを持って手が塞がると忘れてしまうのが上履き袋です。ご家庭でもお声がけよろしくお願ひいたします。

水泳指導

担当 増淵 優花

○水不足解消により、今年度の水泳学習（プール指導）を実施します。

○当初予定の6月5日プール開きの日程は難しい状況です。取水口の破損が確認され、部品を内地から取り寄せています。部品が届き次第工事を行い、指導を開始できるように準備をします。

○プール開きまでの日程（3年のヤゴ救出学習、6年のプール清掃、水張り、水質検査等）や、各学年のプール時間割などは、改めてお知らせさせていただきます。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

校内研究

研究主任 志村 佳成江

今年度の校内研究のテーマは「**基礎基本の定着**」です。昨年度までの2年間、「考えて表現し認め合う子」というテーマで研究を行ってきました。そこで子供たちは、友達と話し合い、共に考える、「協働的活動」を楽しみながら学習に取り組みました。その結果、学習意欲の向上や、表現活動の充実という成果につながりました。一方で、話し合い活動に必要な基礎的な力が不十分なところがある、学年や個々の実態によって習熟に差がある、などの課題も明らかになりました。

そこで今年度は、学年によって実態が異なることを踏まえ、各学年の担任が、学年の傾向と文科省・都・村・学校の目標とを照らし合わせ、子供たちに必要な力を考え、手立てを講じていくことにしました。指導法を検討し合い、教員同士の力を高め、言語・四則計算・都道府県・用具の扱いなど、基礎基本となる知識が子供たちに確実に身に付くようにしてまいります。

4年生紹介

担任 清水 智

4年生35名！教室は子供たちのパワーで一杯です。2年後の最高学年に向けて、学習面・生活面での**いい準備**をしています。

総合的な学習の時間では、以下の3つを行います。

- ①小笠原の植物(理科との関連)
- ②地域安全マップ(社会との関連)
- ③小笠原太鼓(音楽との関連)

願力
Will Power

いずれも**地域密着型**の小笠原小学校ならではの授業です。今後の4年生の活躍にご期待くだ

